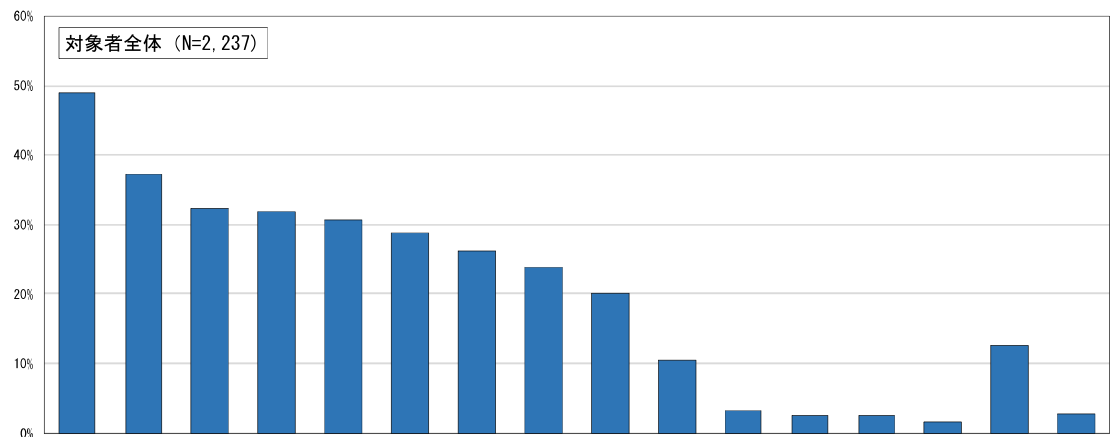


(2)災害への備えや厳冬期の考え方、防災啓発について

◇災害対策として行っていること

問5 あなたのご家庭では、地震や風水害などの災害に備えてどのような対策をしていますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

災害対策として行っていることは、「食料品や飲料水などの多めの買い置き（ローリングストック）」と回答した人が48.9%



		対象者数	置き 食料品や飲料水などの多めの買い （ローリングストック）	備蓄品や非常持ち出し品の用意	ハザードマップの確認	家具の固定や配置の工夫	避難方法や最寄りの避難場所の確認	地震保険、水災保険など災害関連の保険への加入	自家用車へ早めの満タン給油（こまめな給油）	テレビや書籍、インターネットなどで災害時の心得や知識の取得	家族間での連絡方法や集合場所などの共有	所有している電子端末に防災関係アプリのインストール	地域での防災訓練や防災イベントへの参加	親戚や知人宅への避難の相談	家屋や塀などの補強	その他	特に何もしていない	無回答
（％）																		
対象者全体		2,237	48.9	37.3	32.3	31.8	30.7	28.7	26.3	23.7	20.2	10.5	3.3	2.6	2.5	1.6	12.5	2.7
性別	男性	872	42.4	36.6	33.4	32.2	28.9	29.6	29.5	22.9	17.9	12.3	3.7	2.3	3.2	1.9	15.4	2.1
	女性	1,339	53.1	37.6	31.7	31.6	31.9	28.4	24.4	24.3	21.8	9.4	2.9	2.8	2.1	1.2	10.5	3.1
	その他	8	62.5	62.5	12.5	37.5	50.0	－	25.0	37.5	－	25.0	12.5	－	－	－	12.5	－
年代別	29歳以下	137	32.1	33.6	12.4	24.8	20.4	10.2	10.2	25.5	13.9	5.1	－	5.1	0.7	1.5	27.0	0.7
	30～39歳	196	43.4	41.3	24.0	21.9	20.9	21.4	22.4	25.5	17.3	7.7	1.5	4.6	2.6	1.0	18.9	0.5
	40～49歳	335	49.6	38.2	26.6	26.0	26.0	23.0	28.4	20.6	19.7	7.8	0.9	1.5	0.6	1.5	13.4	1.2
	50～59歳	411	54.3	40.4	33.3	34.3	30.4	30.4	35.5	25.5	23.4	17.0	1.2	2.9	2.4	2.7	9.7	1.0
	60～69歳	446	51.1	34.8	35.2	34.8	29.4	31.6	33.2	22.6	18.4	14.3	2.7	1.6	1.3	1.1	9.4	2.7
	70歳以上	693	49.1	36.4	39.0	35.5	39.1	34.3	20.1	24.1	21.8	7.6	7.1	2.6	4.6	1.2	11.0	5.2

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】災害対策として行っていることは、「食料品や飲料水などの多めの買い置き（ローリングストック）」が48.9%、「備蓄品や非常持ち出し品の用意」が37.3%、「ハザードマップの確認」が32.3%となっている。

【性別】「自家用車へ早めの満タン給油（こまめな給油）」は、男性が29.5%と、女性の24.4%より5.1ポイント高くなっている。また、「食料品や飲料水などの多めの買い置き（ローリングストック）」は、女性が53.1%と、男性の42.4%より10.7ポイント高くなっている。

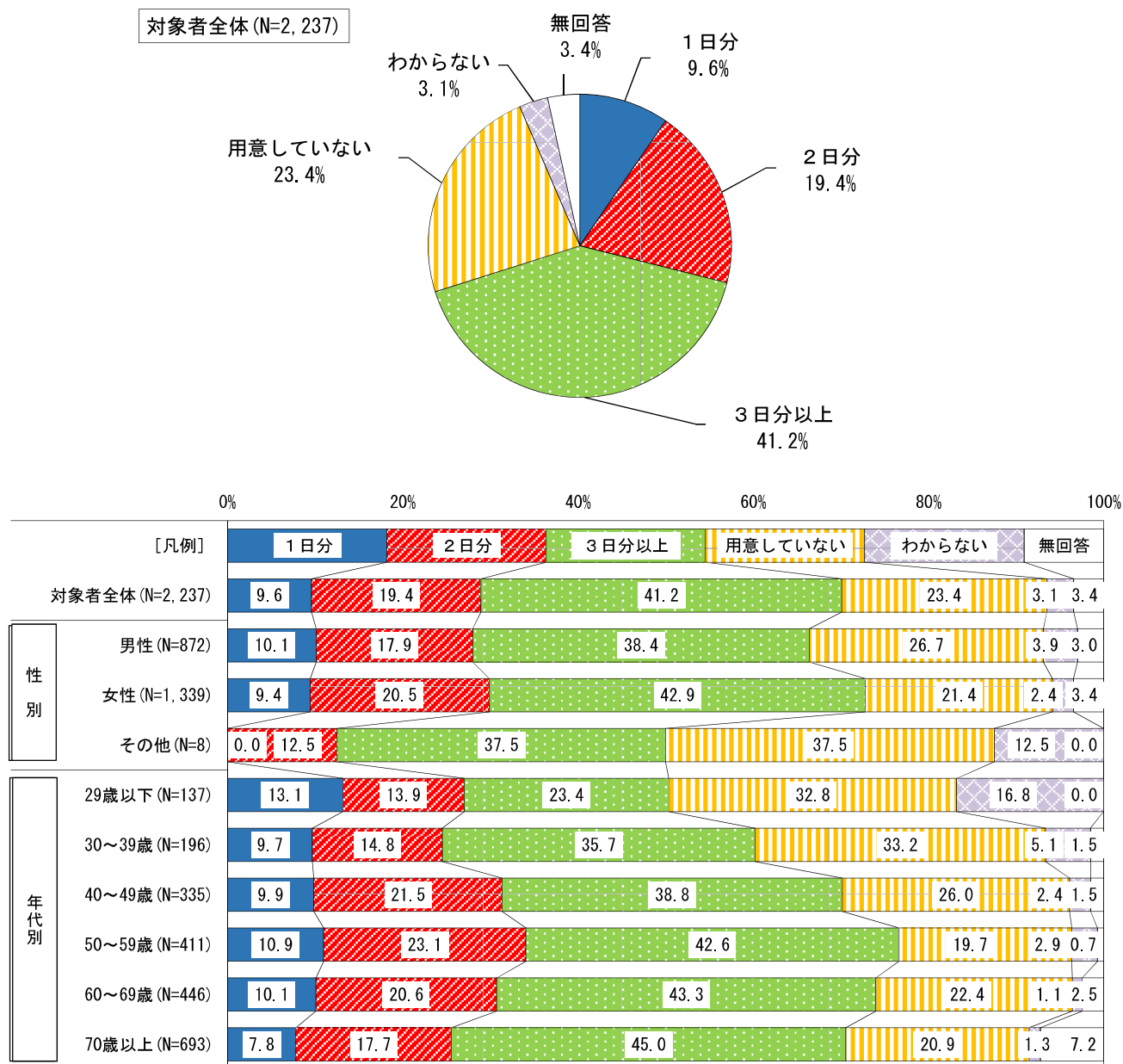
【年代別】「ハザードマップの確認」、「地震保険、水災保険など災害関連の保険への加入」は、年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇災害に備えて用意している備蓄品

問6 あなたは、災害に備えて具体的にどのような備蓄品を何日分用意していますか。それぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

ア 飲料水

飲料水を何日分用意しているかは、「3日分以上」と回答した人が41.2%



【全 体】飲料水を何日分用意しているかは、「3日分以上」が41.2%、「2日分」が19.4%、「1日分」が9.6%、合わせると70.2%となっている。一方で、「用意していない」が23.4%となっている。

【性 別】「用意していない」は、男性が26.7%と、女性の21.4%より5.4ポイント高くなっている。

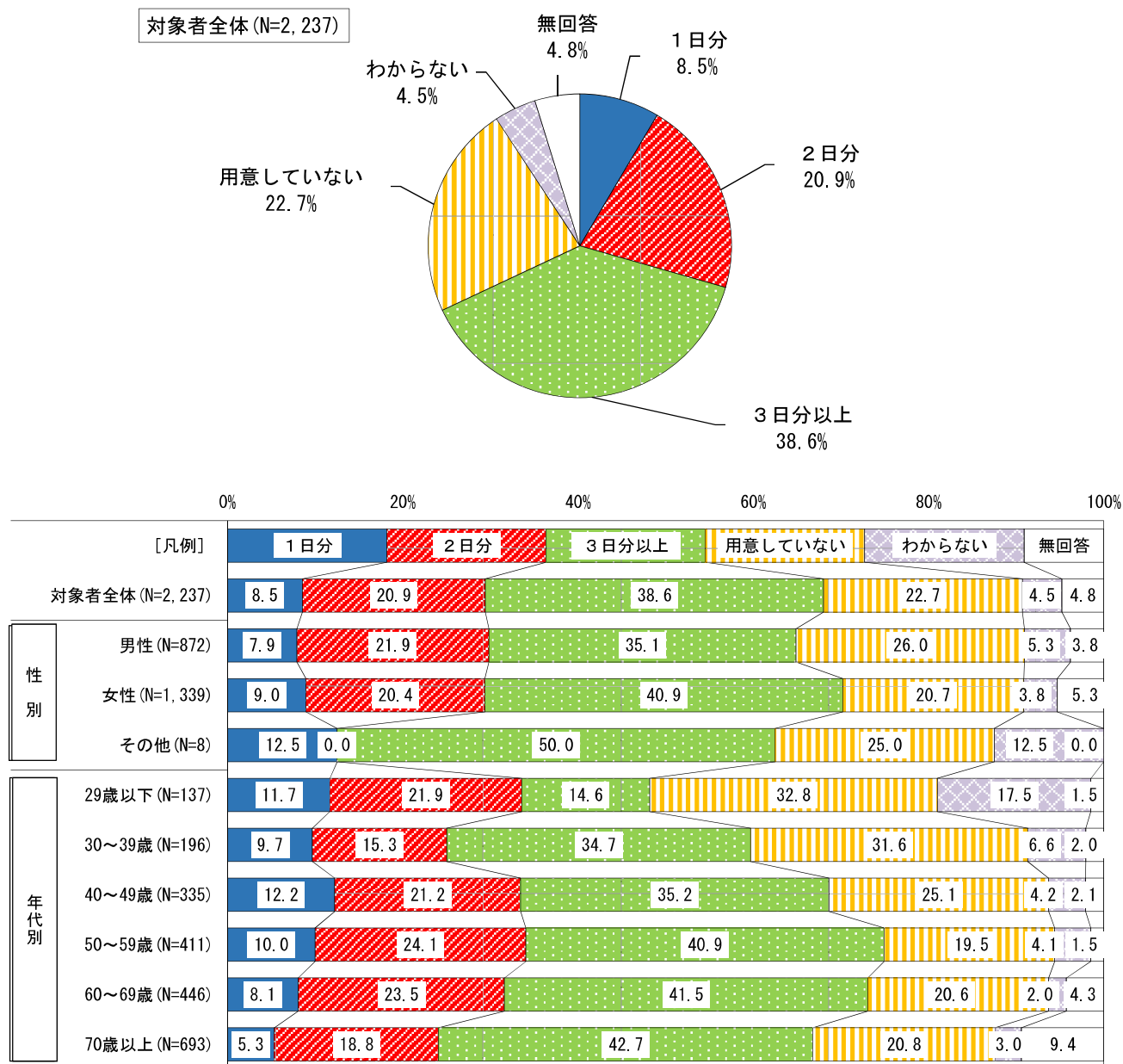
【年代別】「3日分以上」は、年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇災害に備えて用意している備蓄品

問6 あなたは、災害に備えて具体的にどのような備蓄品を何日分用意していますか。それぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

イ 食料

食料を何日分用意しているかは、「3日以上」と回答した人が38.6%



【全 体】飲料水を何日分用意しているかは、「3日以上」が38.6%、「2日分」が20.9%、「1日分」が8.5%、合わせると68.0%となっている。一方で、「用意していない」が22.7%となっている。

【性 別】「用意していない」は、女性のが20.7%と、男性の26.0%より5.3ポイント低くなっている。

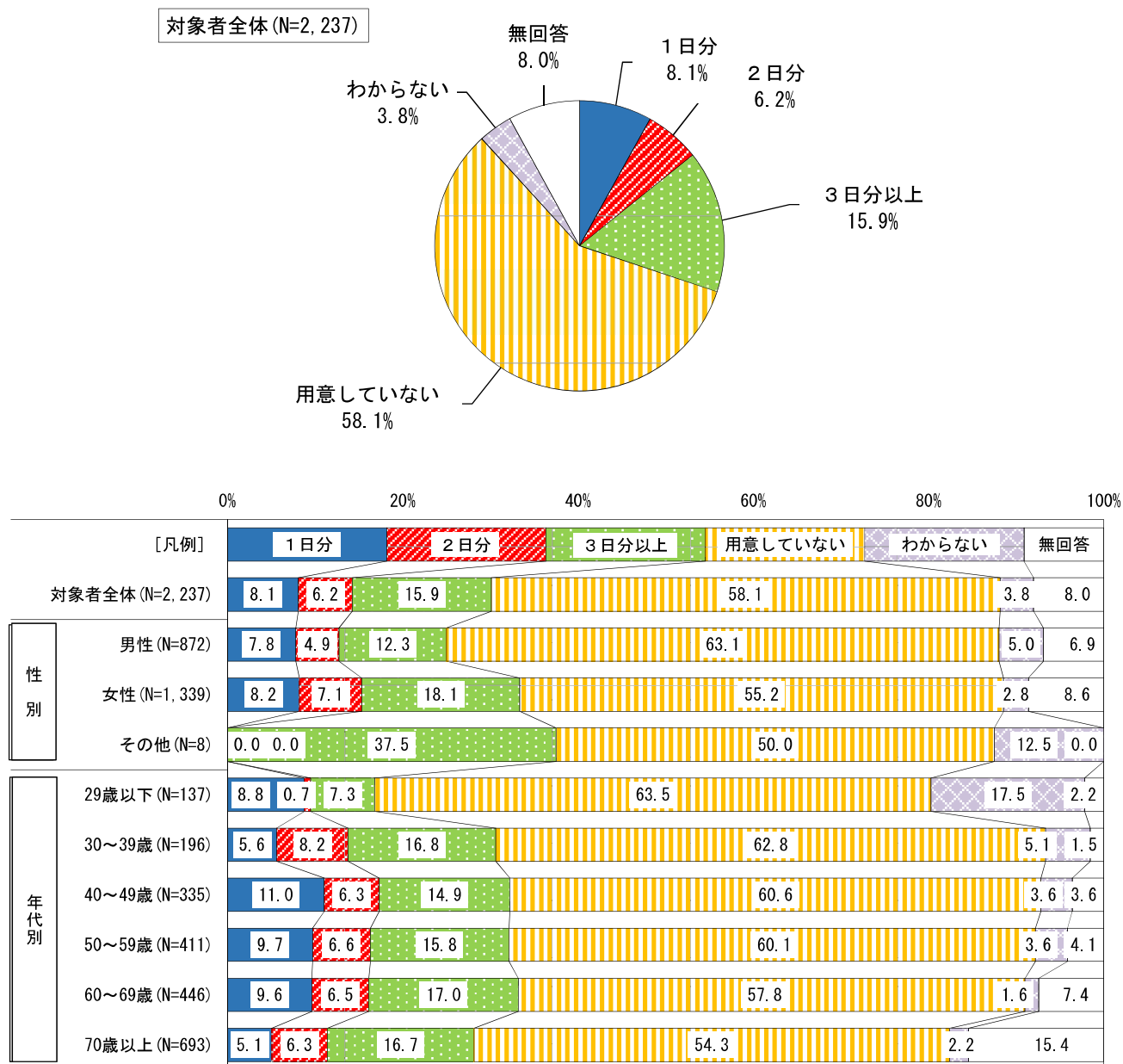
【年代別】「3日以上」は、年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇災害に備えて用意している備蓄品

問6 あなたは、災害に備えて具体的にどのような備蓄品を何日分用意していますか。それぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

ウ 携帯トイレ

携帯トイレを「用意している」と回答した人が30.2%



【全 体】携帯トイレを何日分用意しているかは、「1日分」が8.1%、「2日分」が6.2%、「3日分以上」が15.9%、合わせると30.2%となっている。一方で、「用意していない」が58.1%となっている。

【性 別】「3日分以上」は、女性が18.1%と、男性の12.3%より5.8ポイント高くなっている。また、「用意していない」は、男性が63.1%と、女性の55.2%より7.9ポイント高くなっている。

【年代別】「3日分以上」が60歳代（17.0%）で最も高く、最も低い29歳以下（7.3%）と比べると9.7ポイントの差となっている。

◇災害に備えて用意している備蓄品

問6－1 問6のア～ウ以外に災害に備えているものがあれば、具体的にどのような備蓄品を何日分用意しているかご自由にお書きください。

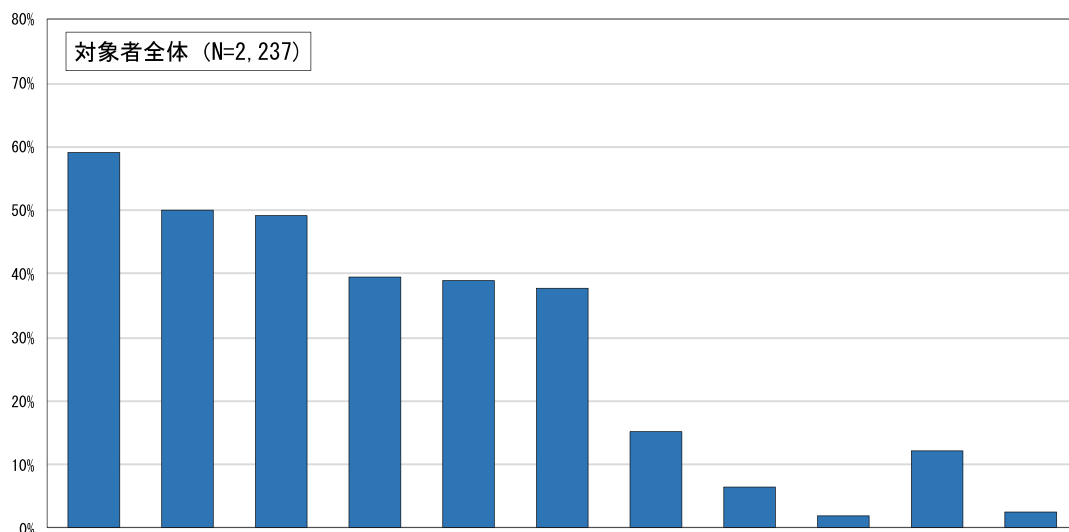
この設問には 576 人の方が回答を記載しました。主な意見は次の通りです。

- 衛生用品等2日分程度（女性・29歳以下）
- 2リットルの水1ケース。缶詰、インスタント麺、レトルトカレーなど5日分（女性・40歳代）
- トイレットペーパー3日分、ライト、アルコールウェットティッシュ3日分。皿、コップ（紙）3日分。ティッシュ。見ると元気になれるアイドルキャラクターのカード（1～2枚）。（女性・30歳代）
- ティッシュペーパー、トイレットペーパー、マスク、新聞紙、ゴミ袋（1週間以上）（女性・60歳代）
- 乾電池2週間以上、ポータブルストーブ（冬用）、携帯用ガスボンベ2週間以上、ろうそく2週間以上（女性・70歳以上）
- ガスの止まった時に備え七輪と炭、焼きつけ、簡易ガスレンジ、玉ネギ、人参等、10日分程度（女性・70歳以上）
- 缶詰、3日位。米、20kg。味噌、2ヶ月位。しょうゆ、油、2ヶ月位。ティッシュ、トイレロール、3ヶ月位。（女性・70歳以上）
- トイレットペーパー、キッチンペーパー（各1ヶ月分）。ティッシュ（BOX）、ビニール袋（45リットル、30リットル、大、中、小サイズ各100枚前後）飲料ドリンク類、パックご飯、ジャム類、缶、ビン詰め等、ローソク（1ヶ月分）（男性・70歳以上）
- カセットガスボンベ3日以上、電池3日以上、灯油20リットルポリ1個（冬）（男性・70歳以上）
- 冬期間の暖房用の灯油（30リットル）3日以上（男性・60歳代）
- ペットボトル型、炭酸水や野菜ジュースもストック、3日以上。・食料はレトルト型が多い。お菓子もストック。2日はもつ（男性・50歳代）。
- 簡易トイレ（便器に付けて使用するもの）3日以上。（男性・40歳代）
- オムツ3日以上、ミルク3日以上（男性・30歳代）
- ガスボンベストーブとガスボンベ3日分（男性・29歳以下）
- （麺類を1ヶ月分以上）（水・ウーロン茶7日間以上）（男性・70歳以上）
- 乾電池（3日分程度）ランタン用。・薬（3日分程度）常備薬として。カットバン等含む。（男性・50歳代）

◇厳冬期における災害用備蓄品の用意について

問7 あなたは、厳冬期での災害発生に備えてどのような備蓄品を用意していますか。当てはまるものにいくつでも○をつけてください。

厳冬期における災害用備蓄品の用意については、「カセットコンロ」と回答した人が59.1%



		対象者数	カセットコンロ	使い捨てカイロ	防寒着	暖かいインナーウェア（靴下、保温肌着など）	寝袋や毛布	電源不要のポータブルストーブ	防寒シートや段ボール	非常用発電機	その他	特に何も備えていない	無回答
		(%)											
対象者全体		2,237	59.1	50.0	49.3	39.6	39.0	37.8	15.3	6.4	1.9	12.2	2.7
性別	男性	872	58.7	40.3	50.5	36.0	37.6	37.2	11.5	7.8	2.3	15.1	2.2
	女性	1,339	59.4	56.5	48.7	42.1	39.9	38.4	17.8	5.4	1.6	10.3	2.9
	その他	8	87.5	50.0	62.5	50.0	50.0	37.5	12.5	12.5	-	-	-
年代別	29歳以下	137	32.8	43.1	40.9	34.3	38.0	16.8	8.8	13.9	1.5	24.8	2.9
	30～39歳	196	42.9	44.9	44.9	41.3	38.3	20.4	11.2	7.1	0.5	19.9	0.5
	40～49歳	335	59.4	45.7	44.5	39.7	40.6	35.5	13.7	8.4	1.5	13.1	2.1
	50～59歳	411	67.9	52.3	49.6	43.3	42.3	39.4	18.7	4.9	2.4	8.3	1.2
	60～69歳	446	65.9	51.6	52.5	41.9	39.5	43.5	17.5	6.7	1.8	8.5	2.7
	70歳以上	693	59.6	52.8	52.7	36.9	36.7	43.9	14.9	4.2	2.3	11.7	4.2

対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】 厳冬期における災害用備蓄品の用意については、「カセットコンロ」が59.1%、「使い捨てカイロ」が50.0%、「防寒着」が49.3%となっている。

【性 別】 「使い捨てカイロ」、「暖かいインナーウェア（靴下、保温肌着など）」、「防寒シートや段ボール」は、女性が男性より6.1ポイント以上高くなっている。

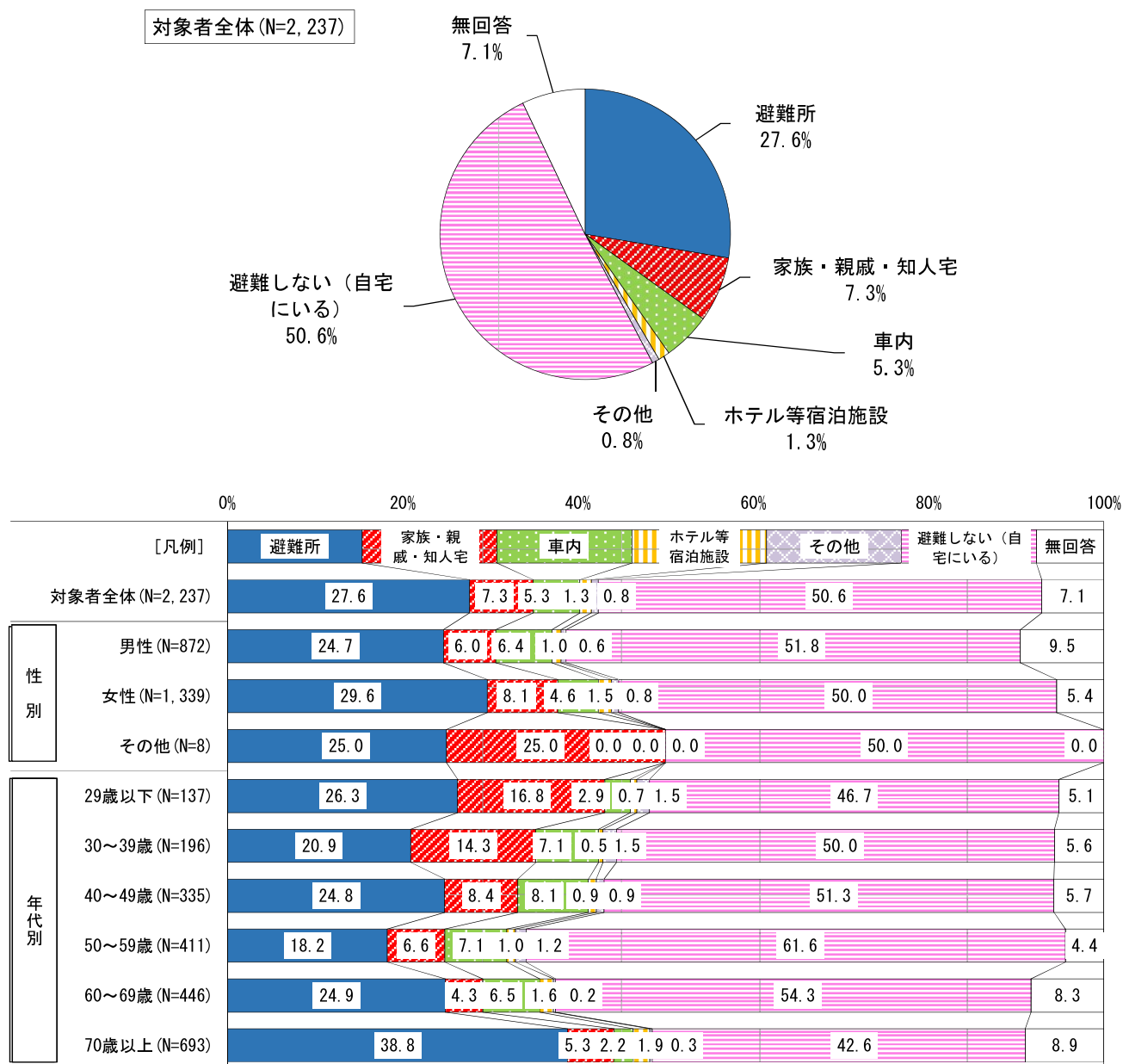
【年代別】 「電源不要のポータブルストーブ」は、年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇厳冬期に大地震によるブラックアウトとなった場合の避難場所について

問8 厳冬期に大地震が発生し、自宅の被害がない、または少ない場合において、ブラックアウト（※）となったとき、あなたはどこに避難しますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

※電力会社が管轄するエリア全域に及ぶ大規模停電のことをいう

厳冬期に大地震によるブラックアウトとなった場合の避難場所については、「避難しない（自宅にいる）」と回答した人が50.6%



【全 体】厳冬期に大地震によるブラックアウトとなった場合の避難場所については、「避難しない（自宅にいる）」が50.6%、「避難所」が27.6%、「家族・親戚・知人宅」が7.3%となっている。

【性 別】「避難所」は、女性が29.6%と、男性の24.7%より4.9ポイント高くなっている。

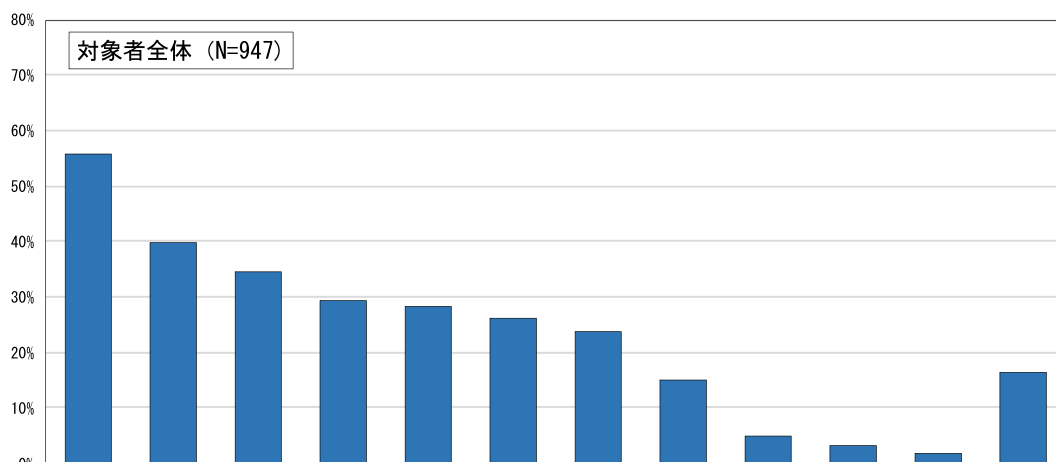
【年代別】「避難所」が70歳以上（38.8%）で最も高く、最も低い50歳代（18.2%）と比べると20.6ポイント差となっている。

◇厳冬期に大地震によるブラックアウトとなった場合に避難する理由

≪問8で「6 避難しない（自宅にいる）」と答えた方以外の方にお聞きします。≫

問8—1 厳冬期に大地震が発生し、自宅の被害がない、または少ない場合において、ブラックアウトとなったとき、あなたが避難する理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

厳冬期に大地震によるブラックアウトとなった場合に避難する理由は、「暖房機器が使用できず寒いから」と回答した人が55.6%



		対象者数	暖房機器が使用できず寒いから	冷蔵庫や照明などの電化製品全般が使用できないから	不安だから	余震が心配だから	停電により水が使えないから（マシソンなど）	避難先に何か情報があるかもしれないから	食べ物の備蓄がない、または少ないから	乾電池や懐中電灯、モバイルバッテリーなどの備蓄がないから	避難先に友人・知人などがいる	その他	特に理由はない	無回答
		(%)												
対象者全体		947	55.6	39.8	34.6	29.1	28.1	26.2	23.8	15.0	4.8	3.2	1.7	16.3
性別	男性	337	56.1	43.6	22.8	24.6	28.8	22.3	26.4	18.4	3.0	3.0	3.0	15.4
	女性	598	56.0	38.0	41.0	31.4	27.9	28.1	22.6	13.2	5.7	3.2	1.0	16.9
	その他	4	25.0	25.0	25.0	25.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-
年代別	29歳以下	66	39.4	31.8	37.9	25.8	19.7	18.2	27.3	19.7	12.1	6.1	-	22.7
	30～39歳	87	58.6	29.9	33.3	21.8	21.8	16.1	10.3	12.6	2.3	9.2	2.3	16.1
	40～49歳	144	61.1	38.9	30.6	18.1	21.5	25.0	20.8	18.1	4.9	2.8	2.8	12.5
	50～59歳	140	57.9	37.1	27.1	22.9	22.9	16.4	20.0	17.1	1.4	3.6	2.1	18.6
	60～69歳	167	58.1	43.7	37.7	32.3	32.9	28.7	32.9	16.2	4.2	1.8	1.2	11.4
	70歳以上	336	54.5	44.0	36.9	37.2	34.2	33.9	25.3	11.9	5.7	1.5	1.5	18.2

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】厳冬期に大地震によるブラックアウトとなった場合に避難する理由は、「暖房機器が使用できず寒いから」が55.6%、「冷蔵庫や照明などの電化製品全般が使用できないから」が39.8%、「不安だから」が34.6%となっている。

【性 別】「冷蔵庫や照明などの電化製品全般が使用できないから」、「乾電池や懐中電灯、モバイルバッテリーなどの備蓄がないまたは少ないから」は、男性が女性より5.2ポイント以上高くなっている。また、「不安だから」、「余震が心配だから」、「避難先に何か情報があるかもしれないから」は、女性が男性より5.8ポイント以上高くなっている。

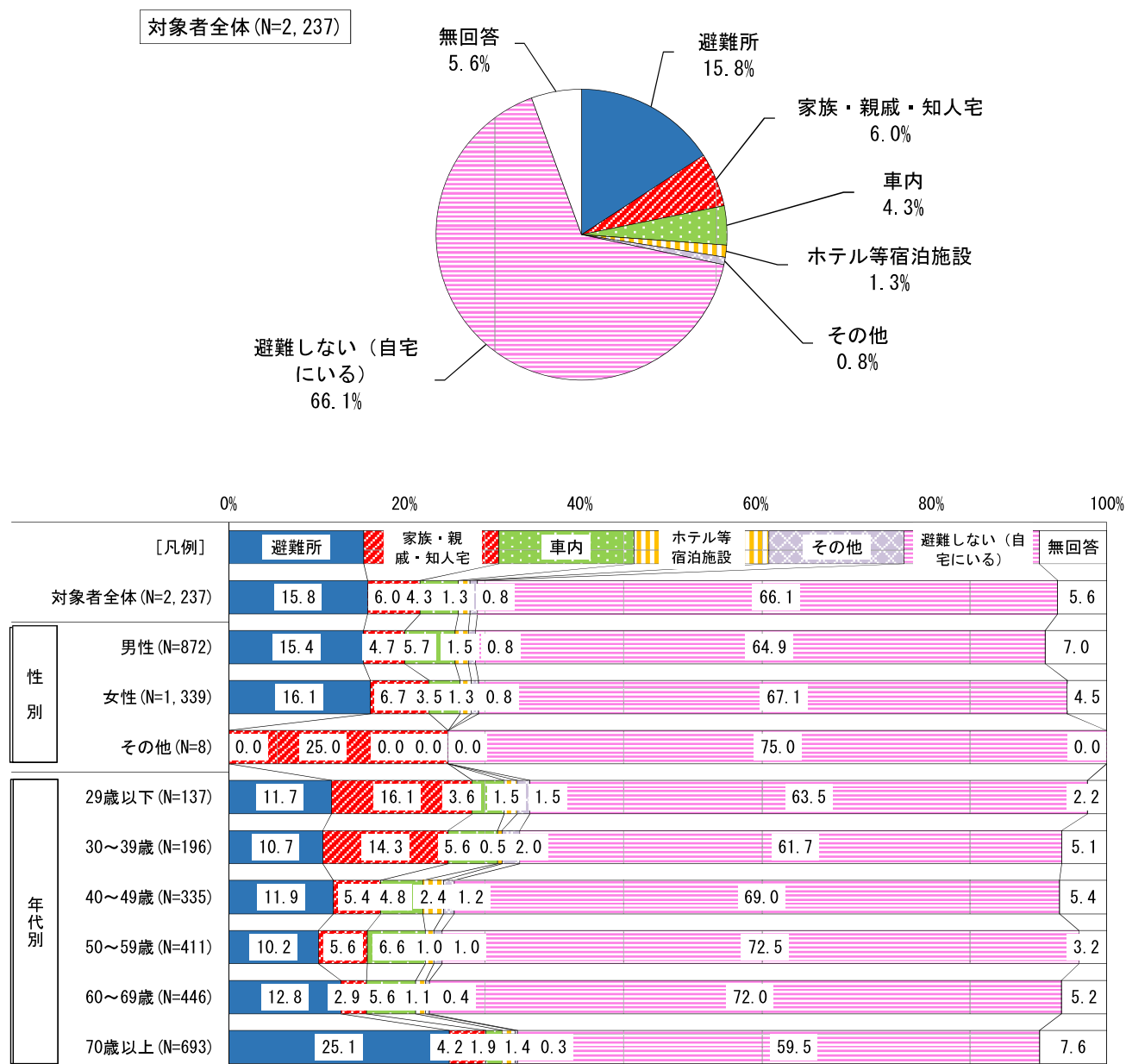
【年代別】「食べ物の備蓄がない、または少ないから」が60歳代(32.9%)で最も高く、最も低い30歳代(10.3%)と比べると22.6ポイント差となっている。

◇夏季に大地震によるブラックアウトとなった場合の避難場所について

《皆さまにお聞きします。》

問9 夏季に大地震が発生し、自宅に被害がない、または少ない場合において、ブラックアウトとなったとき、あなたはどこに避難しますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

夏季に大地震によるブラックアウトとなった場合の避難場所については、「避難しない（自宅にいる）」と回答した人が66.1%



【全 体】夏季に大地震によるブラックアウトとなった場合の避難場所については、「避難しない（自宅にいる）」が66.1%、「避難所」が15.8%、「家族・親戚・知人宅」が6.0%となっている。

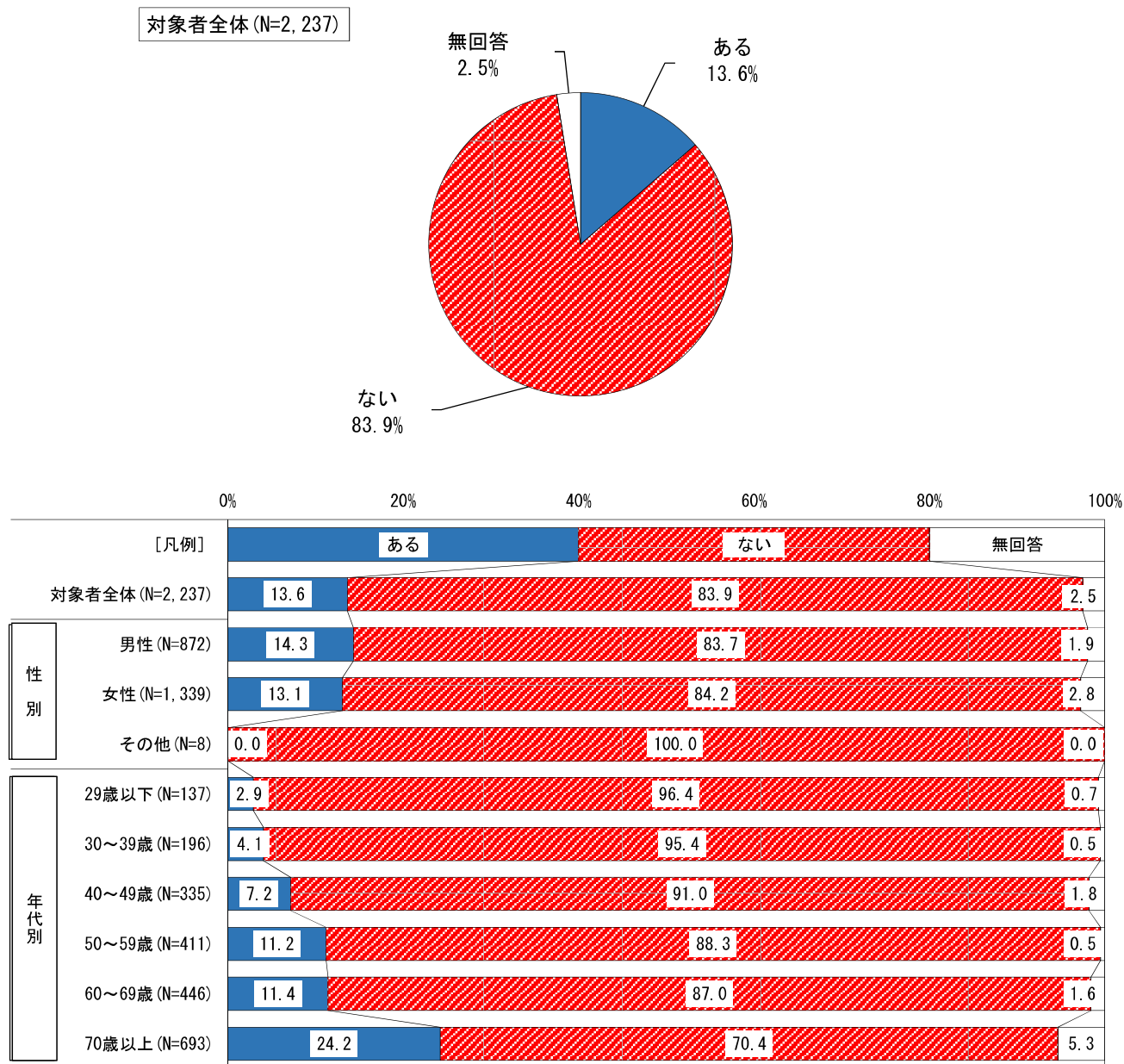
【性 別】男女で大きな差が見られない。

【年代別】「避難所」が70歳以上（25.1%）で最も高く、最も低い50歳代（10.2%）と比べると14.9ポイントの差となっている。

◇「札幌防災動画 気づきから行動へ」の視聴の有無について

問10 あなたは、札幌市が作成している「札幌防災動画 気づきから行動へ」を見たことがありますか。

「札幌防災動画 気づきから行動へ」の視聴の有無については、「ある」と回答した人が13.6%



【全 体】「札幌防災動画 気づきから行動へ」の視聴の有無については、「ない」が83.9%、「ある」が13.6%となっている。

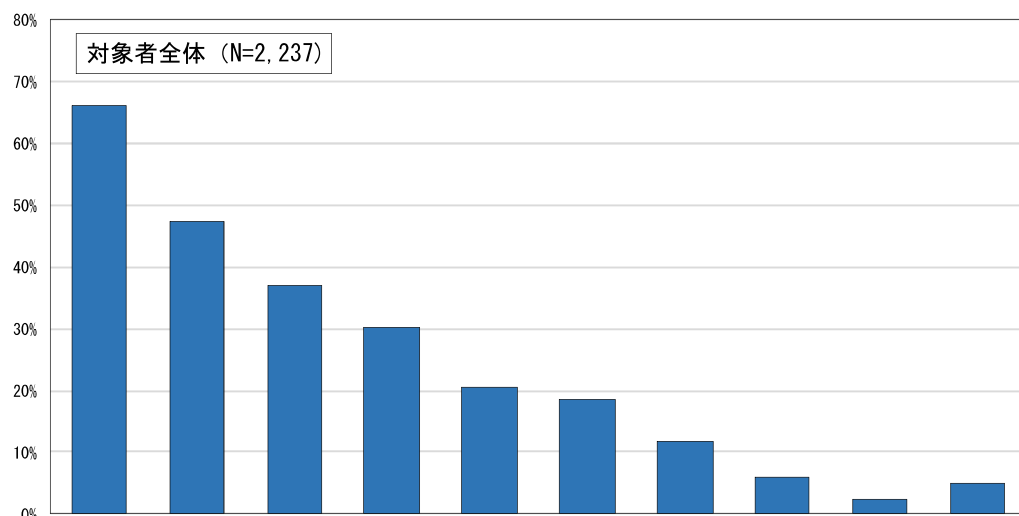
【性 別】男女で大きな差が見られない。

【年代別】「ある」は、年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇防災に関して知りたいと思う項目

問 1 1 あなたが知りたいと思う防災に関する項目は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

防災に関して知りたいと思う項目は、「地震にかかる災害リスク・基礎知識・情報収集先・最寄りの避難場所」と回答した人が66.3%



		対象者数	地震にかかる災害リスク・基礎知識・情報収集先・最寄りの避難場所	家庭での備えなど一般的な防災知識や情報収集先について	洪水や内水氾濫にかかる災害リスク・基礎知識・情報収集先・最寄りの避難場所	マンション特有の被害や防災について	地域で助け合うための自主防災制度や活動について	土砂災害のリスク・基礎知識・災害時の情報収集先・最寄りの避難場所	津波にかかる災害リスク・基礎知識・災害時の情報収集先	企業が行うべき防災について	その他	無回答
		(%)										
対象者全体		2,237	66.3	47.4	37.0	30.2	20.4	18.4	11.8	5.8	2.3	5.1
性別	男性	872	67.4	42.8	38.1	27.5	20.3	19.0	14.2	7.0	2.4	4.4
	女性	1,339	65.9	50.6	36.5	32.0	20.5	18.1	10.1	5.1	2.2	5.3
	その他	8	50.0	37.5	12.5	50.0	12.5	—	—	—	12.5	—
年代別	29歳以下	137	67.2	56.2	40.9	27.0	13.1	26.3	27.0	5.8	2.2	2.2
	30～39歳	196	71.9	58.2	39.3	35.2	12.2	26.0	18.4	6.6	2.0	2.6
	40～49歳	335	69.9	54.0	38.8	26.3	18.8	20.6	15.5	9.3	2.7	3.0
	50～59歳	411	70.1	49.4	41.1	32.4	18.5	20.2	11.7	7.8	2.2	2.7
	60～69歳	446	65.2	43.3	36.3	34.5	20.0	15.5	7.6	4.9	1.8	4.0
	70歳以上	693	61.6	41.3	32.8	27.6	26.3	14.3	7.4	3.3	2.5	8.9

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】防災に関して知りたいと思う項目は、「地震にかかる災害リスク・基礎知識・情報収集先・最寄りの避難場所」が66.3%、「家庭での備えなど一般的な防災知識や情報収集先について」が47.7%、「洪水や内水氾濫にかかる災害リスク・基礎知識・情報収集先・最寄りの避難場所」が37.0%となっている。

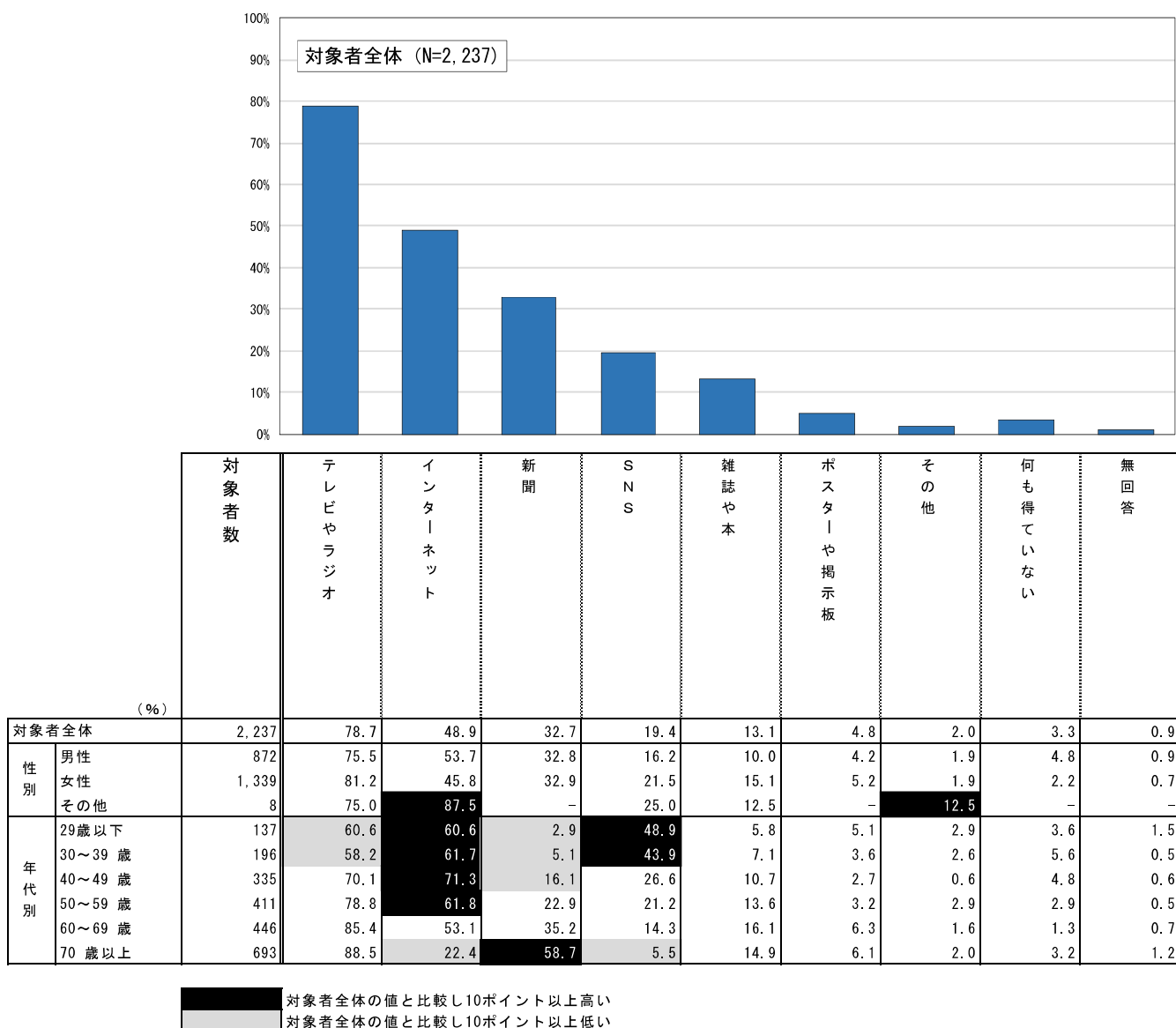
【性 別】「家庭での備えなど一般的な防災知識や情報収集先について」は、女性が50.6%と、男性の42.8%より7.8ポイント高くなっている。

【年代別】「土砂災害のリスク・基礎知識・災害時の情報収集先・最寄りの避難場所」、「津波にかかる災害リスク・基礎知識・災害時の情報収集先」は、年代が下がるにつれて割合が高くなっている。

◇防災に関する知識、情報の取得方法

問 1 2 あなたは、防災の知識や情報を何で得ていますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

防災に関する知識、情報の取得方法は、「テレビやラジオ」と回答した人が78.7%



【全 体】防災に関する知識、情報の取得方法は、「テレビやラジオ」が78.7%、「インターネット」が48.9%、「新聞」が32.7%となっている。

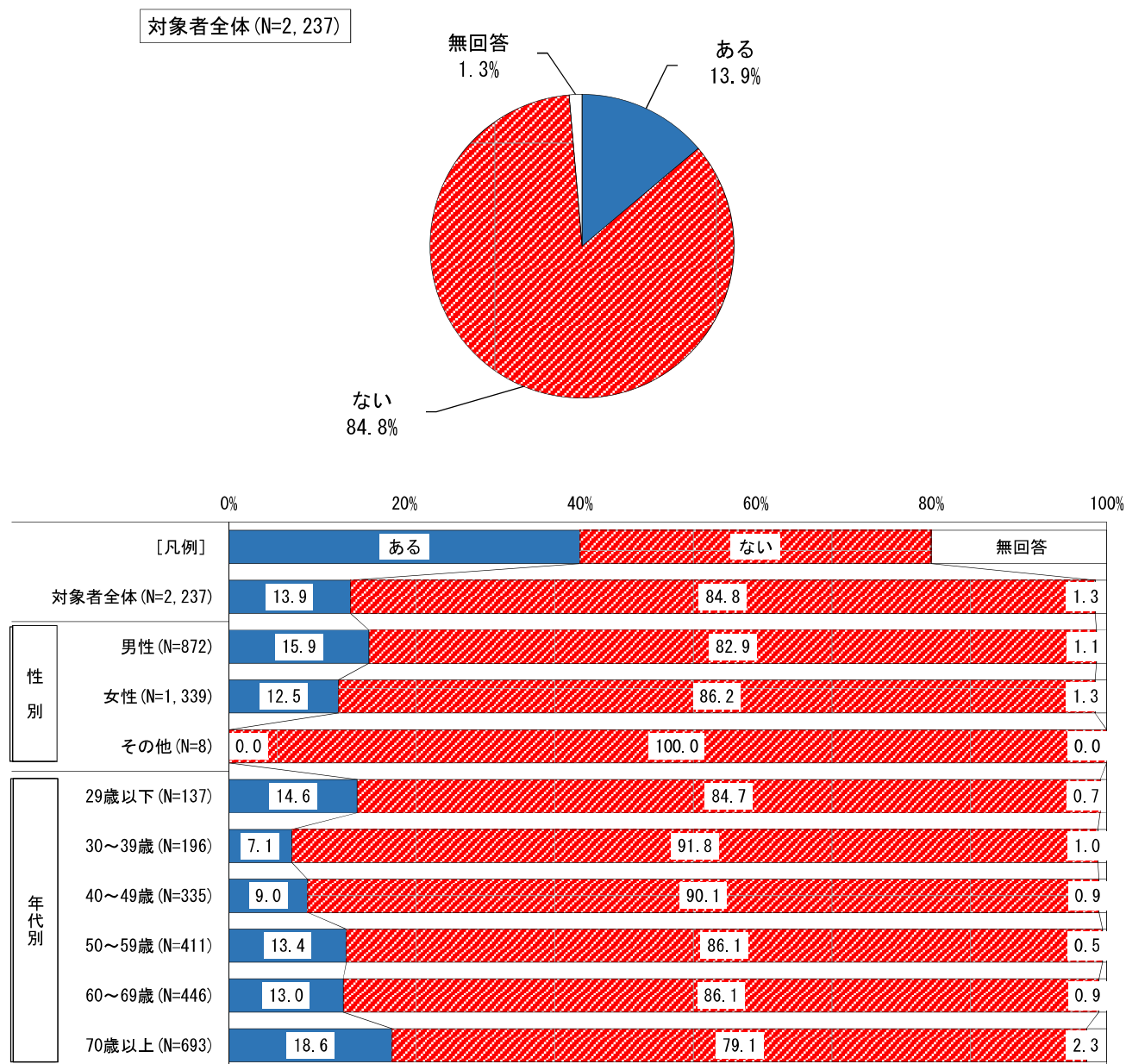
【性 別】「インターネット」は、男性が女性より 7.9 ポイント高くなっている。また、「テレビやラジオ」、「SNS」、「雑誌や本」は、女性が男性より 5.1 ポイント以上高くなっている。

【年代別】「新聞」は、年代が上がるにつれて割合が高くなっている。また、「SNS」は、年代が下がるにつれて割合が高くなっている。

◇防災に関するセミナーやイベントの参加経験の有無

問 1 3 あなたは、過去に防災に関するセミナーやイベントに参加したことがありますか。

防災に関するセミナーやイベントの参加経験の有無は、「ある」と回答した人が13.9%



【全 体】防災に関するセミナーやイベントの参加経験の有無は、「ない」が84.8%、「ある」が13.9%となっている。

【性 別】男女で大きな差は見られない。

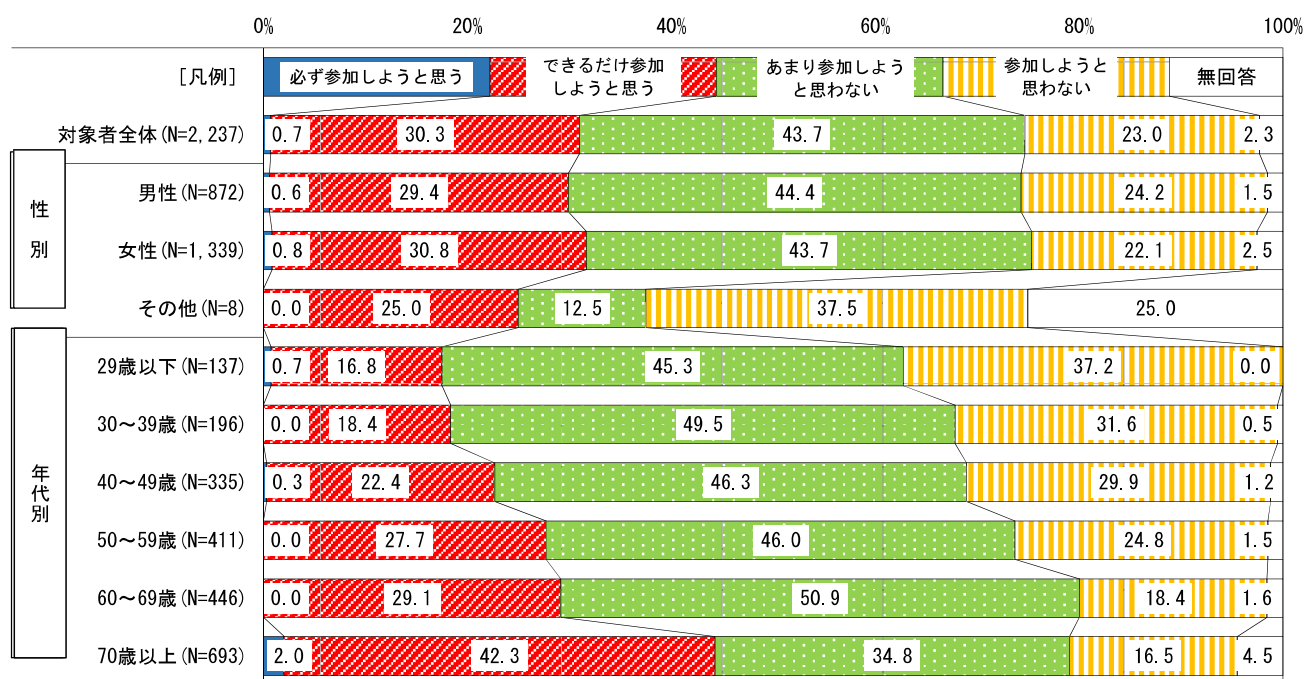
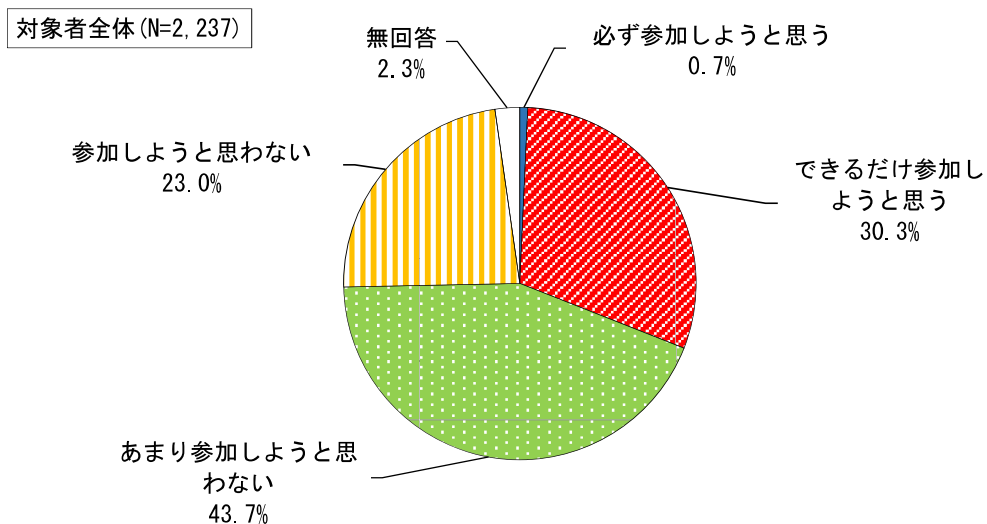
【年代別】「ある」が70歳代（18.6%）で最も高く、最も低い30歳以上（7.1%）と比べると11.5ポイントの差となっている。

◇今後、防災に関するセミナーやイベントへ参加しようと思うか

問14 あなたは今後、防災にかかるセミナーやイベントに参加しようと思いますか。

今後、防災に関するセミナーやイベントへ参加しようと思うかは、「参加しようと思う」人は31.0%

※「参加しようと思う」＝（「必ず参加しようと思う」＋「できるだけ参加しようと思う」）



【全 体】今後、防災に関するセミナーやイベントへ参加しようと思うかは、「あまり参加しようと思わない」が43.7%、「参加しようと思わない」が23.0%、合すると66.7%となっている。一方で、「できるだけ参加しようと思う」が30.3%、「必ず参加しようと思う」が0.7%、合すると31.0%となっている。

【性 別】男女で大きな差は見られない。

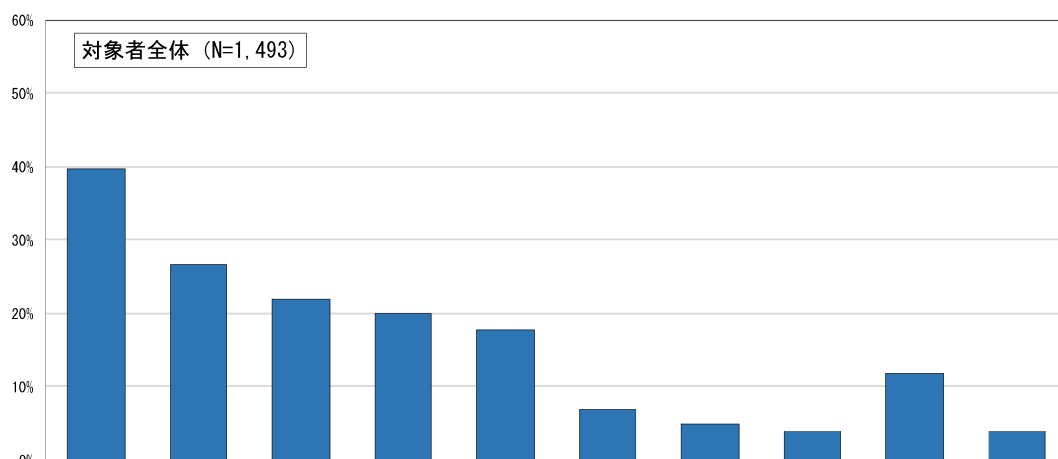
【年代別】“参加しようと思う”は、年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇防災に関するセミナーやイベントへ参加しようと思わない理由

≪問14で「3 あまり参加しようと思わない」または「4 参加しようと思わない」と答えた方にお聞きます。≫

問14-1 あなたが参加しようと思わない理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

防災に関するセミナーやイベントへ参加しようと思わない理由は、「時間がとれないから」と回答した人が39.9%



	対象者数	時間がとれないから	会場まで行くのが大変だから	インターネットや本などですでに必要な情報を得ているから	1人では参加しにくいから	開催される日時や場所が分からないから	興味・関心がないから	役に立つ情報が得られると思えないから	その他	特に理由はない	無回答
(%)											
対象者全体	1,493	39.9	26.7	22.0	19.9	17.7	6.8	5.0	3.8	11.9	3.8
性別											
男性	598	40.8	20.1	23.6	11.9	16.7	10.0	7.5	3.7	13.9	3.2
女性	881	39.2	31.3	20.9	25.4	18.6	4.5	3.4	3.9	10.3	4.3
その他	4	50.0	25.0	25.0	25.0	-	25.0	-	25.0	-	-
年代別											
29歳以下	113	60.2	30.1	19.5	29.2	15.0	13.3	1.8	1.8	9.7	3.5
30～39歳	159	59.1	23.9	18.2	19.5	15.1	11.9	3.8	1.9	7.5	0.6
40～49歳	255	56.9	21.2	27.1	18.4	18.4	8.2	5.9	2.0	6.7	0.8
50～59歳	291	50.9	21.0	24.1	17.9	18.9	5.8	5.8	4.1	8.6	2.4
60～69歳	309	33.0	23.3	23.6	18.8	20.1	4.5	6.1	2.3	14.2	4.5
70歳以上	355	9.6	38.6	17.7	21.1	16.3	4.2	4.5	7.9	18.3	8.2

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】防災に関するセミナーやイベントへ参加しようと思わない理由は、「時間がとれないから」が39.9%、「会場まで行くのが大変だから」が26.7%、「インターネットや本などですでに必要な情報が得ているから」が22.0%となっている。

【性別】「興味・関心がないから」は、男性が女性より5.5ポイント高くなっている。また、「会場まで行くのが大変だから」、「1人では参加しにくいから」は、女性が男性より11.3ポイント以上高くなっている。

【年代別】「興味・関心がないから」は、年代が下がるにつれて割合が高くなっている。